

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期									
	指標資質能力 ※研修計画p.1を参照	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等	指導 支え	子供	管理職等	素養 組織 育成	経営 連携
		意欲・人間性		情熱			人間		研鑽					

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C1800	学校保健課題解決研修 ～行動科学を活用し学校保健課題を解決する～	申込必要
			[定員 60名]

目的・ねらい	各校が抱える学校保健の課題解決に向けて、最新の知識や情報を取り入れると共に、自らの実践を振り返り今後の学校での取組の充実を図る。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

会場: 総合教育センター	7月30日(木)	(午後からの研修)
	講義・演習	効果的な健康教育～ナッジで自ら動く健康づくり～ 講師:青森大学 客員教授 竹林 正樹 氏
	協議	学校保健課題の解決に向けて 講師:総合教育センター指導主事
事前・事後の eラーニング	事前研修	前年度健康教育指導者養成研修の伝達講習

【PR・連絡等】

児童生徒の心身の健康課題は複雑化・多様化しており、解決を図ることが求められています。健康課題の解決に向けては、養護教諭だけではなく、全ての教職員や関係機関等と連携して取り組む必要がありますが、保健活動において、対象者の行動変容を支援することは容易ではありません。

近年、行動変容を支援する手法としてナッジ(Nudge)という行動科学の理論が注目されています。ナッジとは英語で「人々を強制することなく、望ましい行動に誘導するようなシグナルまたは仕組み」と定義されています。「運動をすること」や「規則正しい生活」など健康の大切さを分かっているにもかかわらず、なかなか行動に移せない児童生徒に対する支援の手法について学び、学校における効果的な保健指導の充実を図ります。学級担任や養護教諭等、多くの先生にお勧めする研修会です。